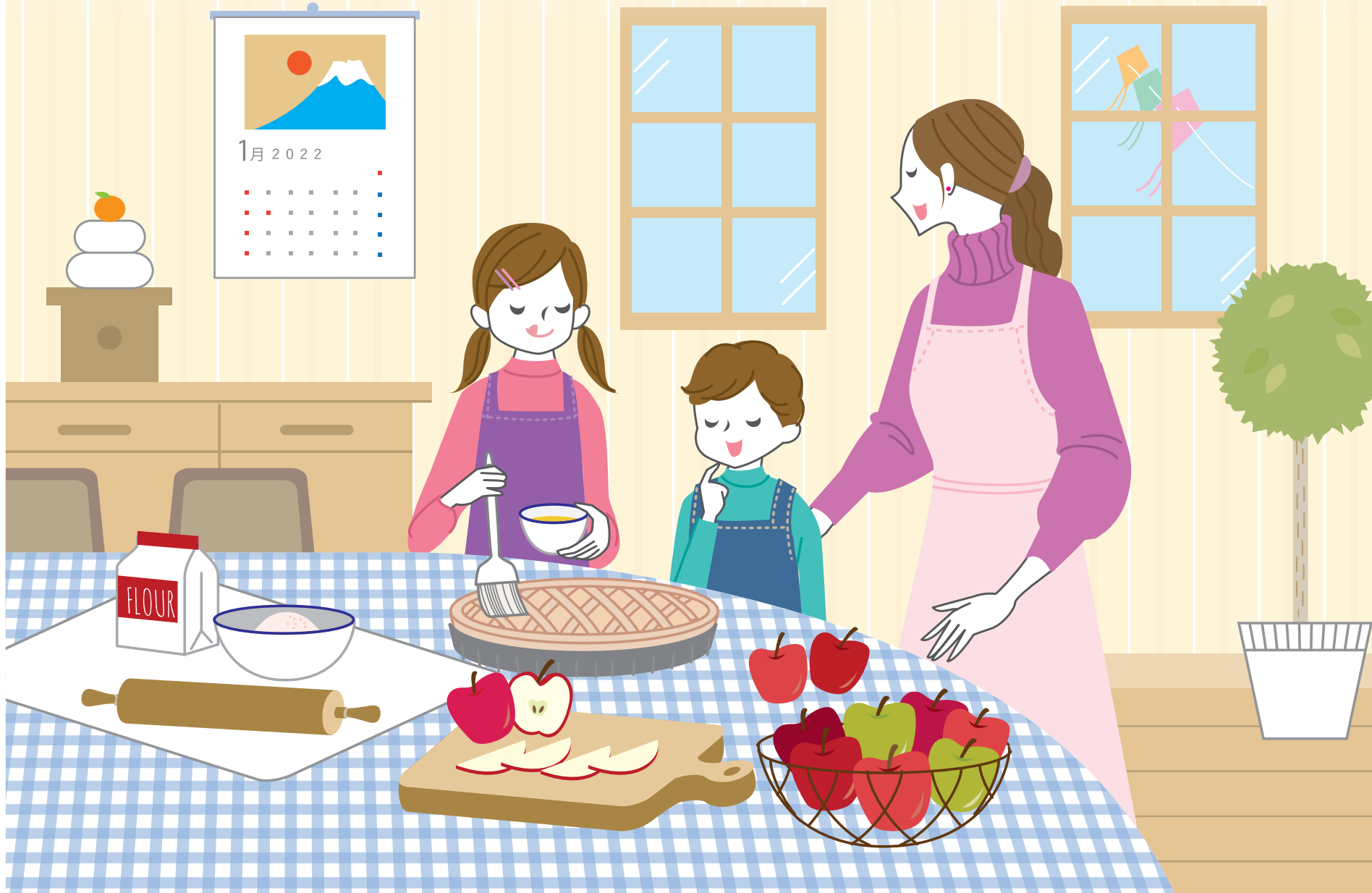




知っておきたい！ 健保のコト

VOL.33

企業合併による被保険者資格と給付

近年、企業の経営統合やM&Aが増えてきました。いままです勤めていた会社が他の企業と合併した場合、それまで加入していた医療保険者が変わることがあります。その場合の保険給付の受給について説明します。

企業の合併後、継続して新たな保険者の適用となった後に会社を辞め健康保険の資格を喪失した方が、任意継続被保険者を申請するケースです。任意継続被保険者の資格要件は資格喪失の前日まで継続して2カ月の被保険者期間が必要です。この期間には以前に加入していた健保組合や協会けんぽに加入していた期間も含まれますので、前の保険者と現在の保険者の合算した継続した加入期間が2カ月以上あれば申請できます。

次に前の保険者から受けていた傷病手当金や出産手当金についても、新たな保険者から引き続き受けることができます。ただし、新たな保険者の加入期間が12カ月未満の場合は、当該期間の標準報酬月額の前年9月末における全被保険者の標準報酬月額の平均した額のいずれか低い方の支給日額が適用されることになります。

最後に、新たな保険者に加入後、短期間で退職した方の出産育児一時金を申請するケースです。同一時金は被保険者期間が継続して1年以上ある方が、資格喪失後6カ月以内に産んだ場合、最後に加入していた保険者から支給を受けることができます。上記のケースでは、以前加入していた保険者期間を合算して継続した期間が1年以上あれば申請することができます。

「かかりつけ医」の推進・制度化など
未来を見据えた制度の構築を

謹んで新春のごあいさつを申し上げます。本年も健保組合・健保連は、皆さんの健康維持・増進のための事業をはじめ、将来も安心して医療が受けられる医療保険制度の実現に向けた活動に取り組んでいきます。

厚生労働省は昨年11月、2019年度に医療機関に支払われた医療費の総額である国民医療費が約44・4兆円、国民1人当たりで35万円強——といずれも過去最高を更新したことを公表しました。増大した主な理由は高齢化の進行と医療の高度化によるものですが、65歳以上の医療費は27・6兆円と全体の6割強を占めています。今年から団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり始めることから、医療費が急増し、現役世代の負担が急速に増えることが懸念されています。

そのため、後期高齢者の窓口負担に新たに2割負担を設け、一定以上の所得のある高齢者に相応の負担をしてもらうことが決定しています。が、限定的な範囲にとどまっており、これだけで

は不十分であり再検討が必要です。また、今回のコロナ禍での経験を生かし、国民が身近で安心して受診できる「かかりつけ医」の推進・制度化を含め、現在の社会保障制度をあらゆる面から検証・見直し、安定した持続性のある仕組みを早急に構築していく必要があります。

さて、今年の干支は「壬寅」。壬には「陽氣を孕み」、寅には「春の胎動を助く」という意味があり、厳しい冬を越えて春の芽吹きは生命力に溢れ、新しい成長の礎となるイメージだそうです。

この2年間、コロナ禍で普通の生活を謳歌できず、息苦しい状況にありました。幸いにもわが国では昨秋から新型コロナウイルス感染者数が激減し、新規感染者数も低い数値で推移していますが、新たな変異株が確認されるなど当面は予断を許しません。干支の意味するところ、1日でも早くコロナ禍による閉塞的な現状が打開され、少子高齢社会の未来を見据えた医療保険制度の構築に向けて、大きく踏み出したものです。

すこやか特別寄稿

増大する医療・介護費用 一刻の猶予も許されない

「構造改革」と

医療費の適正化

600万人を超える

「団塊の世代」（1947年～49年生まれ）は今年から順次、後期高齢者に移行します。

ところが、増大する医療費や介護サービス費用を誰がどう負担するのか、

サービス提供体制をどう確保するのかといった

「2025年問題」への対応は道半ばといった状況です。

現役世代の負担軽減を目的とした

全世代型社会保障制度への転換に向け、

高齢者の給付と負担のあり方を見直す「構造改革」の実施や

医療費適正化の推進は一刻の猶予も許されません。

首相の関心は「賃上げ」に

歴代最長を記録した安倍政権から短命に終わった菅政権を経て、昨年10月に岸田政権が誕生しました。この間、医療制度改革は後期高齢者のうち単身者で年収200万円以上が対象になる窓口負担2割引き上げや、少子化対策として不妊治療の保険適用拡大などが本決まりとなりました。

しかし、健保連や経済界が提起した市販薬で代用できる医薬品（花粉症治療薬など）の保険適用除外や、外来受診時の定額負担（ワンコイン制）導入を巡る論議は「お蔵入り」したままです。岸田首相の関心はもっ

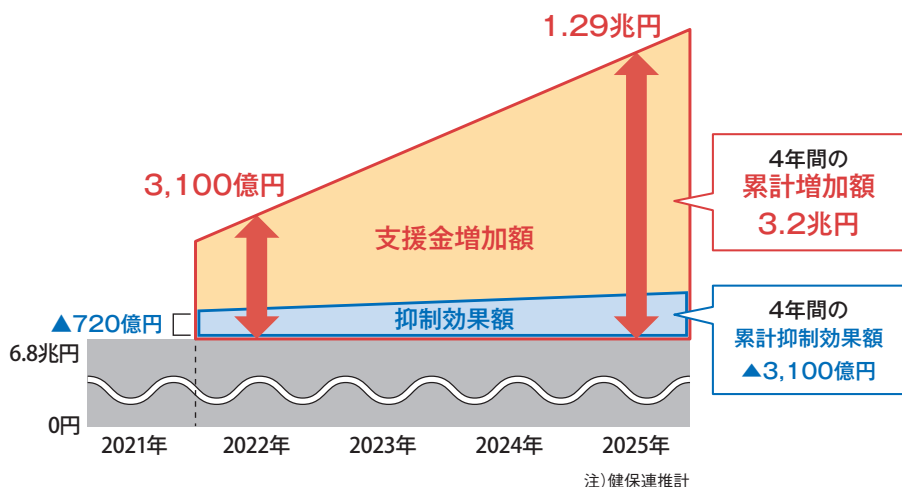
最近はどうですか？



ぱら「成長と分配の好循環」実現の先駆けとして、看護師や介護職、保育士などの賃金引き上げにあるようです。

社会保障制度改革は安倍政権時の枠組みを改組した「全世代型社会保障構築会議」（座長＝清家篤日本私立学校振興・共済事業団理事長）と、「公的価格評価検討委員会」（座長＝増田寛也日本郵政社長）に引き継がれましたが、枠組みとしては小さ過ぎます。構造改革を志向するのであれば、「給付と負担のあり方」や「薬価改定と保険適用」、「病床機能の再編」といった形で分科会や小委員会を設置するやり方もあるはずですが、岸田首相の構造改革に関する問題意識は所信表明演説などをみる限り、希薄と言わざるを得ません。

図1：後期高齢者2割負担導入による現役世代の負担抑制効果

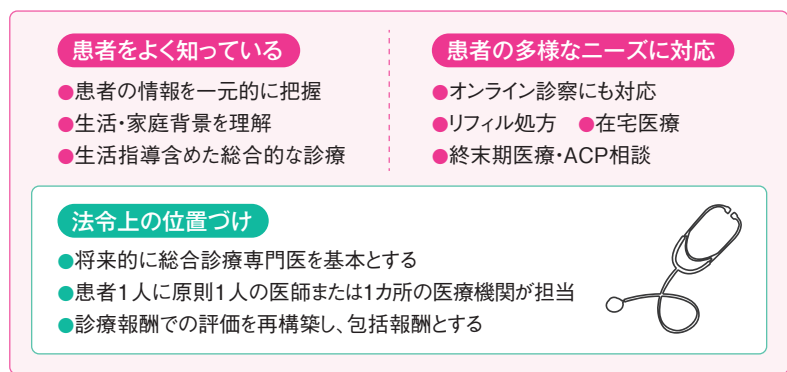


2割負担引き上げは「焼け石に水」

新型コロナウイルス感染拡大は日本社会を大きく変容させました。健保組合財政は景気の低迷に伴い保険料収入が減少する一方、コロナ感染を恐れた受診控えの影響による医療費の減少により一時的な回復がみられたものの、2025年問題の入り口に当たる22年度からは高齢者への支援金増加により急速に悪化します。健保連の試算によると、22～25年度までの4年間で支援金は累計で3兆2000億円の増加が見込まれるのに対し、窓口負担2割引き上げによる財政抑制効果額は累計で10分の1以下の3100億円にとどまります（図1参照）。

現役世代の負担軽減が「焼け石に水」に過ぎない中、2割負担引き上げ時期を最も早い今年10月に設定するのはもちろん、2割負担対象者の拡大に向けた議論も避けて通れないのは明らかです。また、後期高齢者医

図2：「かかりつけ医」のイメージ



同床異夢の「かかりつけ医」

療制度で窓口負担3割となっている現役並み所得者の給付部分にも1～2割負担者の給付費と同様、50%（約4300億円）の公費を投入して現役世代の負担軽減を図るべきです。政府は18年度の市町村国保運営の都道府県移管に際しても、国が負担すべき都道府県への支援金の一部を健保組合などに「肩代わり」させてきた経緯があります。しかし、サイレント・マジョリティーたる民間サラリーマンに負担増を強いるという安易かつ小手先の手法は、健保組合の存続を危うくするだけです。

医療の効率化を通じた医療費適正化も2025年問題への対応のカギを握る取り組みです。健保連が昨年10月に発表した新提言は、安心・安全な医療の構築や医療の効率化に向け、「かかりつけ医」機能や要件を法

令等で明確化するよう求めています（図2参照）。国民の大病院志向が定着した中で、かかりつけ医が休日や夜間も含め初期診療を担う体制づくりを進めるのが狙いで、日本医師会や病院4団体も13年に「かかりつけ医」機能に関する提言をまとめています。

とはいえ、両者の考え方は同床異夢の関係にあり、診療報酬上の取り扱いも含む制度化は容易ではありません。低調なオンライン診療の普及拡大をはじめ「かかりつけ医」機能について、医療関係団体による腹藏ない議論の積み重ねが求められます。



金野 充博
（こんのみつひろ）

国際医療福祉大学
総合教育センター教授

低調なオンライン診療

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに注目された「オンライン診療」は2022年度から制度化されますが、昨年6月時点の普及率は約6%、再診のみ対応する医療機関を合わせても15%程度にとどまっています。

「対面診療」が基本という理由以外では、診療報酬の低さや機器導入に伴う初期費用の発生などが壁になっています。しかし、患者の利便性に配慮したオンライン診療はICT社会の要請でもあり、普及拡大に向けた仕組みづくりは急務です。



「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

vol. 118

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

介護離職で 9060問題!?

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

ほっとひと息、 こころにビタミン

精神科医 大野 裕

vol. 46

あきらめないで 工夫をする大切さ

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

COML 患者の悩み相談室

Vol.58

私の相談

注射針による神経損傷、 過失が認められず病院の対応にも不満

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子



回答

回答者
山口育子 (COML)

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子



「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

健康 マメ知識

医薬品と医療費適正化

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子

「いつも心は寄り添って」
NPO法人パオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田差恵子